

Protolabs が 2018 年 7 月 26 日に米国ミネソタ州メープルブレインで発表したプレスリリースの抄訳です。

Protolabs は 2018 年度第 2 四半期決算、 売上高、純利益ともに過去最高を記録

**第 2 四半期の売上高は前年同期比 34%増、過去最高の 1 億 970 万ドル
同純利益は前年同期比 52%増、過去最高の 1,830 万ドル**

Proto Labs, Inc. (NYSE:PRLB 以下、Protolabs) は、2018 年 6 月 30 日を末日とする第 2 四半期の決算を発表しました。

2018 年度第 2 四半期の業績ハイライト

2018 年度第 2 四半期の売上高は、前年同期の 8,200 万ドルから 33.7%増の 1 億 970 万ドルとなり、過去最高を記録しました。

- 2018 年度第 2 四半期にオンラインサービスを通じて弊社サービスを利用した製品開発者および設計者の数は、前年同期比 18.7%増の 19,198 人となりました。この数字には先ごろ買収した RAPID Manufacturing 社のサービスを利用する製品開発者は含まれません。
- 2018 年度第 2 四半期の純利益は過去最高の 1,830 万ドル、希薄化後の 1 株あたり利益は 67 セントでした。
- 非 GAAP (米一般会計原則) ベースの純利益は 1,990 万ドル、希薄化後の 1 株あたり利益は 73 セントとなりました。「非 GAAP 財務指標」については文末のリンクの URL よりご参照ください。

Protolabs の社長兼 CEO、ヴァッキー・ホルトは次のように述べています。「Protolabs は、2 期連続で前年同期比 34%増の売上高を達成しました。弊社の CNC 切削加工サービスの売上は上半期で 60%以上急増しています。このように需要の急増に対応できるのは、弊社のデジタルビジネスモデルがもたらす価値と拡張性がいかに高いかを証明するものです。」

2018 年度第 2 四半期のその他のハイライト

- 2018 年度第 2 四半期の売上高総利益率は 54.0% (前年同期は 56.5%) となりました。この低下の主な要因は RAPID Manufacturing 社の買収によるものです。
- 2018 年度第 2 四半期の GAAP ベースの営業利益率は 20.0% (前年同期は 20.0%) でした。
- 非 GAAP ベースの営業利益率は 23.3% (前年同期は 22.9%) でした。「非 GAAP 財務指標」については文末のリンクの URL よりご参照ください。

2018 年度第 2 四半期の営業活動によるキャッシュフローは 3,320 万ドルでした。

- 現金および投資の当第 2 四半期末合計残高は 1 億 4,490 万ドルとなりました。

Protolabs の CFO（最高財務責任者）、ジョン・ウェイは次のように述べています。「Protolabs の業績は堅調を維持しています。34%の増収により、営業利益は 34%増、純利益は 52%増となりました。営業活動の結果得られた資金は 3,300 万ドルとなり、事業に再投資をすることで、さらなる増収増益を図ってまいります。」

貸借対照表を含む詳細に関しては米国本社発表の原文をご参照ください。

<http://phx.corporate-ir.net/phoenix.zhtml?c=248039&p=irol-newsArticle&ID=2360145>

※訳注：本資料は米 Proto Labs, Inc.による英文プレスリリースをプロトラブズ合同会社が日本語訳（抄訳）したものです。原文と本抄訳の差異に関しては、原文が優先致します。

(以上)

プロトラブズについて

プロトラブズは ICT を駆使した独自のデジタル マニュファクチャリング システムにより、カスタムパーツの試作から小ロット生産をオンデマンドかつ画期的な速さで受託製造する会社です。最先端の ICT テクノロジーを最大限に駆使することにより、CNC 切削加工、射出成形パーツを数日で製作します。国内では 2,700 社様以上が利用しており（2018 年 6 月末時点）、日本全国の製品開発者に、他に類を見ない早さでパーツを入手できるという価値をお届けしています。プロトラブズに関する詳細は、<http://www.protolabs.co.jp> をご参照下さい。プロトラブズの会社概要は、<http://www.protolabs.co.jp/about> で確認いただけます。